



これまでの経過

平成28年8月の下田市総合教育会議において、中学校再編に関し、「段階を踏まず、4校を一度に統合する一校化の手法が望ましい」という方向性が示されました。その後、下田市立中学校再編検討会議の設置、アンケート実施、保護者説明会や市長と語る会の開催など、中学校再編に係る課題に関し、様々な意見を伺い、教育委員会3月定例会にて、今後の方向性及び諮問案の協議・承認を経て、附属機関である下田市立学校等再編整備審議会に諮問を行うこととなりました（広報しもだ平成29年5月号に掲載）。

教育委員会では、説明会等で皆さまからいただいた意見を反映し、報告書で示した今後の方向性に基づき、平成29年4月に下田市立中学校の再編整備に関し、「①再編手法及び校舎位置②通学補助③建設手法」の3点について諮問を行い、計3回の審議会が開催されました。今回の広報しもだでは、その審議会の経過と意見内容、最終的な答申内容についてお知らせします。

審議会審議経過について

下田市立学校等再編整備審議会の審議経過については、次のとおりです。

第1回審議会（4月27日）

- ・ 諮問、中学校再編経過説明
- ・ 中学校視察及び第2回審議会（5月29日）
- ・ 稲生沢中学校及び下田中学校視察
- ・ 中学校視察に関する意見交換
- ・ 答申案作成に向けた検討

第3回審議会（7月4日）

- ・ 中学校再編に関する答申案の協議及び決定
- ・ ※全3回の審議会については、これまでに取りまとめられた「下田市立中学校再編に係る報告書」、「下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地に係る報告書」などの資料を基に、現地中学校視察も行い、慎重に審議を重ねました。

審議会での主な意見

①再編手法及び校舎位置

- ・ 校舎、敷地面積、周辺環境などを考慮すると下田中が望ましい。しかし、通学条件、下田中までの通学経路、時間などをどう考えていく

②通学補助

- ・ 遠方から通学する生徒に対しては、下田駅から下田中までの間もバス通学にすべきである。
- ・ 路線バスが少ない地域についての対応、スクールバスを運行するなど、生徒によって不公平が出ない方策を検討してほしい。
- ・ 再編することにより、ただでさえ通学時間が増え、朝早くから支度をし、通学をしなければならぬ状況が生まれる。せめて費用面については全額補助という形

③建設手法

- ・ 大規模改修のイメージとして、校舎等を骨組みだけにし、一新することだが、例えば音楽室などの必要数など、生徒数に応じた形、細かな配慮がなされた学校施設環境を整えてもらいたい。
- ・ 体育館については、最低でも中体連などの会場として使用できるようなものを検討してもらいたい。
- ・ 長寿化や安心・安全な学校施設環境など、子どもたちの立場に立った、保護者の方も安心できる大規模改修となるようにお願いしたい。等

審議会答申内容

以上の審議会の経過を経て、7月18日（火）に再編整備審議会から答申を受けました。その内容については、次ページのとおりです。

下田市立学校等再編整備審議会答申内容

- ①再編手法及び校舎位置について
 

今後の生徒数、既存学校施設状況、周辺環境などを含め、総合的に検討した結果、より良い生徒の学習環境を創造するためには、現在の下田中学校敷地を利用し、4校を1校化する新たな中学校を設置すること。
- ②通学補助について
 

市内全ての中学校を再編することから、これまで以上に通学に係る時間及び経費が掛かり、生徒・保護者の負担が増加するため、通学費については、保護者の負担に不公平が生じないよう行政が全額を補助すること。
- ③建設手法について
 

生徒の教育環境の充実を図るため、既存学校施設を長寿命化する大規模改修とし、補助制度を最大限活用した上で、安心・安全で快適な学校施設を整備すること。
- ④その他について
 

ア. 中学校再編の時期について  
現在、平成33年度以降のできるだけ早い時期に中学校再編を行うとした上で協議を進めているが、具体的な時期について、早急に明らかにすること。

イ. 通学に係る安全対策について  
通学に係る安全対策については、最低限確保されるべき問題であり、自宅と学校との間を安全に登下校できる環境整備を最優先で検討すること。

ウ. 再編時期にあたる生徒への配慮について  
再編時期にあたる生徒に対しては、事前に学校間交流などを実施することにより、生徒たちの不安を可能な限り解消すること。また、下田中において仮設校舎となる環境になった場合には、その中でもより良い環境を目指し、細かな配慮をすること。

エ. 保護者に対する説明会開催について  
当審議会の答申後、保護者に対し説明会を開催するとともに、市当局として具体的な方策を持って臨むこと。

オ. 下田市立学校統合準備委員会について  
当審議会の答申後、下田市教育委員会の附属機関である「下田市立学校統合準備委員会」において、中学校再編に係る具体的な協議に入ると想定されるが、生徒の学習環境を守り、改善することを第一目的とするともに、協議内容についても全ての子どもたち、保護者及び地域住民などに分かるよう情報提供を行うこと。

カ. 中学校跡地利用について  
中学校再編後の跡地利用については、今後のまちづくりの観点からも非常に重要なことから、地域住民などの意見を尊重し、慎重な検討を行うこと。

今後のスケジュール

関係事項	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	
保護者・学校	答申内容概要版配布周知			説明会開催 (4中学校区・幼保こども園)				
地域		答申内容広報周知		説明会開催 (市内6地区)				
下田市立学校等再編整備審議会	答申							
下田市立学校統合準備委員会						設置準備	第1回設置・諮問	
教育委員会	答申内容報告確認	経過報告						
総合教育会議	答申内容報告確認	随時開催						
政策会議	政策決定		随時開催					
下田市議会	12月定例会にて補正予算計上 ・基本計画業務委託費 ・統合準備委員会委員報酬							

※今後は、教育委員会定例会や総合教育会議において報告及び確認した上で、市として中学校再編に係る政策決定を行う予定です。その後に答申内容にもあるとおり、保護者・学校、地域に対し説明会を開催させていただきます。併せて、平成30年1月を目標に教育委員会の附属機関である「下田市立学校統合準備委員会」を設置し、1校化に向けた具体的な協議（新しい学校のあり方、校名、校歌、通学等）を進める予定です。

下田市ホームページから  
<http://www.shimoda.shizuoka.jp/>  
 中学校再編